
開講科目名：会計学特別研究（財政学）1年 （0単位）
開設年次：1年 2年
開設学部：会計学研究科博士前期課程会計学専攻
担当者：片山 和希

《授業の概要》

【授業の目標】

財政学の研究領域でテーマ設定を行い、そのテーマについて研究を進め修士論文を完成させることが目標です。

【授業の概要】

この授業では、財政学の重要な研究課題を取り上げて研究します。とりわけ租税と政府間財政関係について取り上げます。そして、国家財政だけでなく地方自治体の財政を扱います。

研究課題・テーマを適切に選択し、論文に自らの考えをまとめあげていきます。1年次には、財政学の研究領域において議論となっているテーマを、テキストの輪読と討論・議論を通じて理解していきます。そして、設定した研究テーマについて、適宜に発表、レポート提出等を行い、修士論文の完成に向けて研究作業を進めていきます。

【評価方法】

レポート・小論文の出来、報告・発表の出来、出席・授業態度、授業時発言等で総合的に評価します。試験を行う場合もあります。

これに加え、2年次は修士論文への取組とその出来もふまえて総合的に評価します。

担当放棄、提出物無、欠席（とくに無断欠席）が多い等の場合、単位修得はできません。

《テキスト》

適宜提示します。

《参考書》

適宜提示しますが、さしあたり次のものをあげておきます。

神野直彦（2007）『財政学〔改訂版〕』有斐閣。

重森暁・鶴田廣巳・植田和弘編（2009）『Basic現代財政学』有斐閣。

片桐正俊（2014）『財政学〔第3班〕』東洋経済新報社。